

クマに注意!

クマ
出
没
中
!

県内各地に

クマがあなたのすぐそばに…
山でクマに遭遇しない対策を

山で

時間 複数人で行動し、 明け方、夕方の入山は 避ける(入らない)

ツキノワグマは明け方と夕方に行動が活発になります。時間帯を選んで入山しましょう。



音 音の鳴るグッズを 常に鳴らして 存在をアピール

クマは臆病な性格です。クマ鈴やラジオなどで人間の存在をアピールすれば近付きにくくなります。



ゴミ 食べ残し等、エサに なるものを放置しない

お弁当やお菓子の食べ残しなどはクマのエサ。放置すると、クマをおびき寄せてしまう可能性があります。



準備 いざという時の 撃退グッズ

注意してもクマとバッタリ遭遇してしまう可能性があります。クマスプレーなど撃退グッズを準備しましょう。



クマに出会ってしまったら…

- 背を向けて走って逃げない
- 目を離さずに静かにゆっくり後ずさる
- 親子グマに注意
- 風向きに注意して撃退スプレーを使う
- クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

クマは顔や頭を狙ってきます



岩手県では
「ツキノワグマ被害防止対策」を
ホームページに掲載しています。

ツキノワグマ
による
人身被害状況・
出没状況(岩手県)
普段から
ツキノワグマの情報を
チェックして対策しましょう。



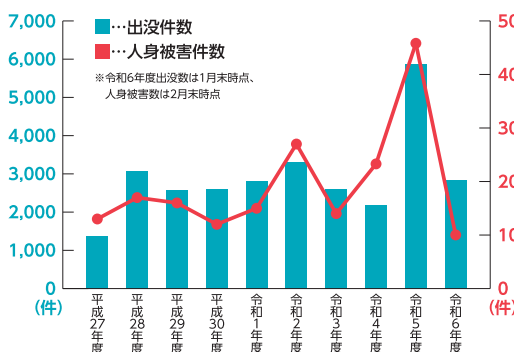
ツキノワグマの出没データ

岩手県には、ツキノワグマが県内全域に約3,700頭(令和2年度末時点)生息しています。

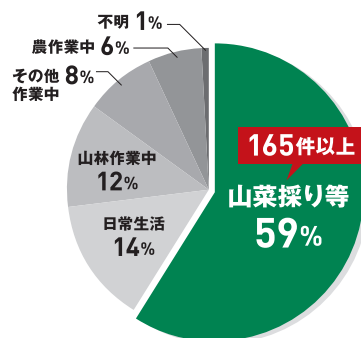
近年、中山間地域の人口減少や高齢化による耕作放棄地の増加等に伴いクマの生息域が拡大し、人身被害や農作物被害などによる人とのあつれきが増大しており、出没件数も増加傾向にあります。

また、人身被害は、クマの本来の生息地である山間部での発生が6割となっていますが、近年は人里での発生が増加傾向にあります。なお、山間部での事故は、山菜採り等(キノコ採り、釣り含む)が約6割を占め、人里では日常生活(散歩等)や農作業中の発生となっています。

クマの出没件数及び人身被害件数 [平成27年度～令和6年度]



山での被害発生状況 [平成15年度～令和6年度]



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出没件数(件)	1,370	3,070	2,575	2,612	2,806	3,316	2,602	2,179	5,877	2,848
人身被害件数(件)	13	17	16	12	15	27	14	23	46	10
山での人身被害(件)	8	14	10	10	10	11	5	15	17	5

※令和6年度出没数は1月末時点、人身被害数は2月末時点

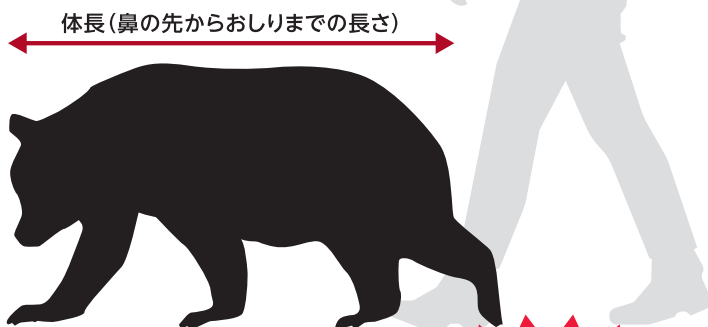
ツキノワグマの特徴

- 体長** 100～150センチメートル
- 体重** 30～100キログラム
- 臭覚** 敏感
- 聴覚** 優れている
- 視力** あまりよくない
- 性格** 子連れの母グマは、子グマを守ろうと攻撃的行動をとることが多いため注意
- 特技** 木登り、水泳、走るのも速い
- 食べ物** ドングリやクリ、山菜やタケノコ、昆虫、ヤマブドウなど
- 習性** 急に背中を見せて走って逃げると反射的に追いかけてくるといわれている(逃げるものを追いかける)



こんな特徴も

クマは小さな音でも聞き分ける能力(聴覚)、イヌのようにわずかなニオイをかぎわける能力(嗅覚)を備え、優れた運動能力を持っています。時速40km以上で走ることができるほか、泳ぐのも得意です。



クマのことを知る・共有する

クマと共生するため、岩手県では**ツキノワグマ管理検討協議会**を設置しています。

ツキノワグマの保護・管理を的確に実施するため、学識経験者や関係団体等で構成するツキノワグマ管理検討協議会を毎年開催しています。協議会では、管理計画の評価・見直し、捕獲上限数の設定、生息数モニタリングの評価・分析等を行っています。

ツキノワグマ
管理検討
協議会



クマを目撃したら
お住まいの市町村へ
通報をお願いします

クマやその対策に関する**正しい情報**を**周りの人と共有**しましょう!



お問合せ 環境生活部自然保護課(TEL.019-629-5371)

協力 岩手大学ツキノワグマ研究会